



深呼吸したくなる家の作り方

1. 人・家・地球の健康を未来の子どもたちへ

- 『人の健康』・・・・・・・・・・快適で安全な室内環境
- 『家の健康』・・・・・・・・・・地震に強く長寿命
- 『地球の健康』・・・・・・・・・・冷暖房効率よく省エネ



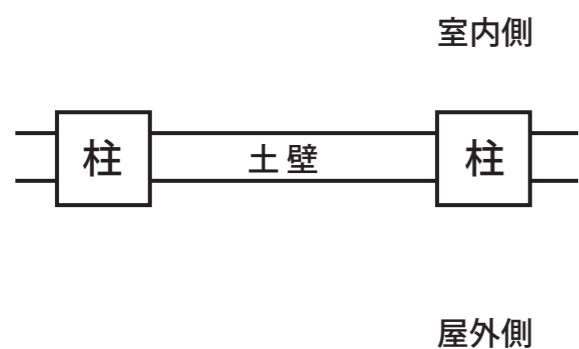
この三つの健康を同時に成り立たせるにはどうしたらいいのでしょうか？

省エネが目的で始めた高气密化ですが空気が悪くなり、換気扇を回せば熱を捨て、蒸れ腐れを早めてはどうにもなりません。とはいえ、空気が良く家にも良いと昔の寒い家では、やはり省エネは計れません。国の画一的な政策や住宅メーカーの現代住宅では、矛盾してしまい解決できないのです。

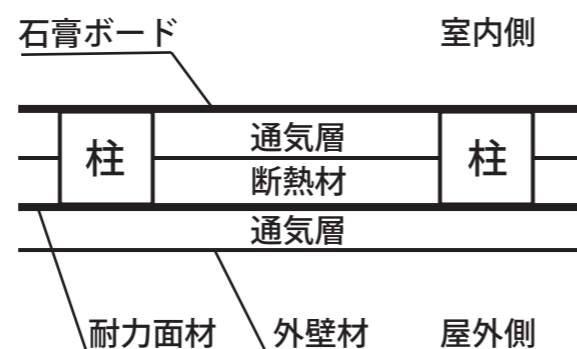
そこで大工の棟梁は考えました。日本には四季があり、寒暖の差が激しいので高温多湿の夏季は風通し良く、冬季は熱を抱えるために機密を高められないか？『通気と断熱』のきりかえです。例えば夏はTシャツで冬はセーターですね。

では具体的にどのように衣替えするのか？家の衣類は壁です。昔の日本家屋は柱がむき出しで絶えず外気に触れ、呼吸していました。ところが現代の家は柱が壁の中にすっぽりと隠れ呼吸ができません。そこで壁の中に空気の道（通気層）をつくり、その空気の流れを制御すれば、冬暖かく夏涼しく、蒸れ腐れのない家がつくれるのではと考えたのです。

[昔の家]



[WB HOUSE の家]



2. 家の気管支呼吸の快適・長寿命

通気層の通期の量を四季に合わせて変えることで、夏はTシャツになり、冬はセーターを着る衣替えをする家はこのような仕組みです。



春～秋は床下と屋根の上の換気口を開くと温度差で通気層に上昇気流が発生します。

柱や梁・土台などが高温多湿な時に湿気を抱えないようになります。同時に床下の涼しい空気を利用して壁の中の温度も上がらず夏は快適です。

冬は換気口が閉じることで通気の量を絞ります。セーターを着たように空気の層ができ、たいへん暖かい家となります。では換気口の開閉はどうするのでしょうか？

いいものがありました。『形状記憶合金』です。このバネは暖まると縮み、冷えると伸びるという特性を持っています。人の手や過大な設備・電力を使わずに気温によって開閉します。



WB HOUSE は国の基準はクリアしてますので冬はしっかり暖かく、夏は独自の**通気**で壁に熱を抱えず、エアコンの力を温度で約 15%、後程紹介する**透湿**の力で湿度も 50%削減できる実験結果を得ました。

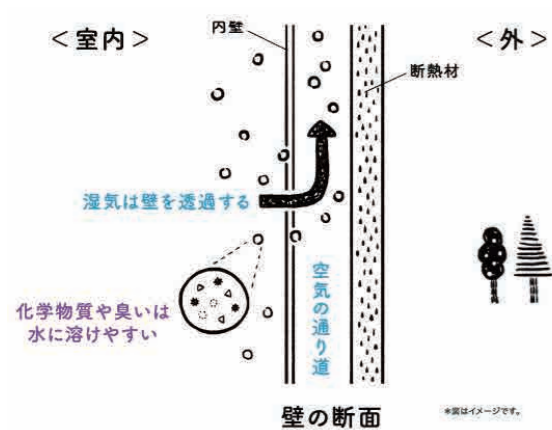
『深呼吸したくなる家』WB HOUSE の WB はダブルブレス [二つの呼吸] を意味します。一つ目の呼吸は形状記憶合金による換気口の開閉で通気量を変える。大きな家の**気管支呼吸**の役割を表します。では二つ目の呼吸はなんでしょうか？

—ちょっとブレイク—

赤ちゃんのおむつは通気性の良いモノは常識ですね。住宅も通気性の良いものが常識でなければいけないのですが、実際はビニールハウスです。日本の住宅の壁紙の実に 98%がビニールクロスなのです。こんな話もありますよ、漁師さんに聞くとタコはプラスチックの壺には入らないそうです。皮膚呼吸ができる素焼きの壺を好むそうです。人もビニールの家では呼吸困難になりますよね。原点に戻り量から質の時代へとゆっくり戻してゆきましょう。

3. 家の皮膚呼吸で安全な空気環境

冬せっかくセーターを着ても空気が悪くなり、24 時間換気に頼れば脱いでしまうようなものです。では**機械換気**に頼らず**空気が悪くならない方法**はないのか？答えは二つ目の呼吸にあります。全身ビニールを巻いたら皮膚呼吸ができないことはご存知ですよね。



二つ目の呼吸、家の**皮膚呼吸**とは自然素材には目に見えないほどの小さな穴（**微細孔**）が空いています。汗をかくように湿気を上手に吸収して逃がしてくれる**透湿**という力です。

皮膚呼吸＝透湿する素材は、やはり今も昔も自然素材です。土壁に代わるのは、石膏ボードに綿や紙そして塗り壁。また屋外に貼る地震に強い耐力壁にも**透湿耐力面材**を貼ります。土壁の中に断熱材と通気層を設けたような状態です。

快適で安全な環境をつくることは決して難しいことではないのです。衣類に置き換えてみてください。一年中下着にビニールを着てセーターを着て更にビニール合羽を着ていたら調子が悪くなり、年中送風機と香水がいるでしょう。そして、夏はまちがいなく倒れます。

当然、下着には綿のシャツを着て夏にはTシャツ冬はセーターにビニール合羽ではなく、最近《汗は透し雨をはじく》いい素材もあります。

WB HOUSE の二つ目の呼吸の効果は、まず年中冬向きにしたら空気が悪くなり換気扇を回さなければいけない？ いいえ、必要ありません！ 一年中汗をかける家は**空気が汚れません**。汗と一緒に化学物質や生活臭を輩出し湿度が上がりにくいのでカビも抑制します。

こもってしまう家の最終手段は換気扇や空調ですが冷暖房の浪費につながります。そして機械で空気も使い音も気になり故障もし、3～5年もすると**ダクト内**が大変なホコリだめになり、カビやダニの温床になるという**二次被害**のケースが非常におおくなっています。

地元の大工棟梁は、その地域の気候風土や自然素材の扱い、家の呼吸を良く知っています。三つの健康を矛盾なく成り立たせるには、**伝統**に学ぶことが大切でした。ただ、それだけでは解決できない部分は、**最先端技術**で補います。これが『深呼吸したくなる家のつくり方』です。

半世紀で衣食住すべてが、**手仕事**や**自然素材**の代用とし**機械**や**薬品**を発達させてきました。しかし過剰な追及によって健康被害が生じ、それをまた機械や薬品で止めようという悪循環に陥っています。その**一番の被害者は弱い子供たち**です。

コストも時間もかかるので全て自然素材と手作りというわけにはいかない時代です。ただちょっとした素材選びと工夫で機械や薬品の害から子供たちを守れます。もう一度『**原点**』に戻りましょう！家の二つの呼吸を取り戻すことができれば、**家が空気清浄機**のようにいつでも新鮮な空気をつくりだしてくれるのです。深呼吸したくなる家はまるで無農薬野菜をつくる畑です。そこでとれる **Organic air** を味わってください。

—ちょっとブレイク—

年々夏の気温が上がっていきます。しかし住宅業界は未だに、あったかい家と冬向きの家を勧めます。ここ数年は室内で熱中症になる方が急増しています。冬は着るという選択で丁度よい地域もあります。家があまりにもセーターを分厚くし夏には脱げません。北海道から沖縄まで、地域それぞれに合った家造りがベースにあり、冬向き・夏向きになる家が一番ですね。WB HOUSE は暖かく涼しく、爽やかでいつまでも『深呼吸したくなる家』つくりです。

新築の臭いがきつい家は要注意です。WB HOUSE の家は他社に比べ臭いが少ないと評判です。また、新築の臭いが抜けるということは生活臭にも効果があります。

冬に室内で洗濯物を干すと「生乾きのような臭いがねー」、なんて方が結構いらっしゃいますが、WB HOUSE にお住いの奥様には『**洗濯物がカラッと乾く**』と好評をいただいております。

生ごみも梅雨から夏は余計に匂いますよね。匂いは湿気と上がります。ビニールに空調で焼肉の臭いが家中に一週間のこる家か、**次の日になればスカツ**としている家なのか、消臭剤という生活臭をごまかす家の香水に頼らなくてすみますよ。